

2019年度（平成31年度）公益財団法人静岡県文化財団事業計画

I 基本方針

静岡県文化財団は、県の「ふじのくに文化振興基本計画」を踏まえて、グランシップの指定管理事業を適切に実施し、各種文化振興事業を推進してきた。

2019年度（平成31年度）は、第4期（2017～2021年度）グランシップ指定管理業務の3年度であり、引き続き「上質で多彩をより身近に」「県民との繋がり」と広域的な協働・交流」「安全・安心・快適な施設運営と経営の安定化」「働きやすい職場づくり」を、開館20周年を迎えたグランシップ運営上の基本方針として財団を運営し、様々な事業に取り組む。

特に、グランシップ企画事業については、事業の目的を「音楽文化等の普及・振興」「伝統芸能の継承」「文芸・美術等の振興」「子ども・子育て世代への支援」の4本の柱に整理した上で開館20周年記念事業にも取り組みながら、戦略的に展開する。

また2020年から始まるグランシップ特定天井改修工事に伴う長期休館や東京オリンピック・パラリンピック大会文化プログラム後の対応について、準備を進める。

なお2019年10月からの消費税等の税率変更に伴い、グランシップ利用料金を改定する。

1 上質で多彩をより身近に

- ・県と一体となって、文化芸術の振興 一本県の文化の創造、発展、普及一 を図るため、「上質」で「多彩」な企画事業では、グランシップを中心として身近な場所で取り組む。
- ・「ふじのくに文化情報フォーラム」の開催など、ふじのくに文化情報センターの活動を通じて、県民の文化芸術活動へ積極的に支援する。

2 県民との繋がり」と広域的な協働・交流

- ・新たに県から受託予定の「子どもが文化と出会う機会創出事業」を県内プロオーケストラと協働で取り組むなど、静岡県立美術館、静岡県舞台芸術センター（SPAC）を縦糸に、大学、高校及び中学等の学校、市町の公立文化施設、文化芸術団体、アーティスト、マスコミ、企業を横糸に、県内関係者との連携を強化する。
- ・「音楽の広場」、「トレインフェスタ」を始めとして、若い世代を意識した「春の音楽祭」や、静岡県文化プログラム推進委員会と協働で県域プログラムである「伝統芸能フェスティバル」に取り組むなど、県内外の様々な組織、個人とネットワークを構築しながら東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて本格化する文化プログラムの一翼を担っていく。
- ・貸館においても県内の文化プログラムの拠点として、関連催事を積極的に支援する。
- ・県、するが企画観光局、市町の公立文化施設や展示施設などの関係機関と連携し、首都圏の大規模コンベンションを共同誘致する。

3 安全・安心・快適な施設運営と経営の安定化

- ・ユニバーサルデザインに配慮した運営や故障個所の迅速な修繕、毎月の防災訓練の実施などにより、利用者にとって安全・安心・快適な施設運営に努める。
- ・安定的な収入の確保と経費の節減により、効率的・効果的な運営を図る。

4 働きやすい職場づくり

- ・職員の労働時間、育児休業制度の適切な管理に取り組み、仕事と生活の両立に努める。

II 事業概要

1 文化芸術の振興事業

(1) グランシップ企画事業

文化芸術は、楽しさや感動、精神的な安らぎや生きる喜びをもたらす人生を豊かにするとともに、人間性を育むことができるという視点で、複合施設としてのグランシップの特性を生かし、音楽を中心とした現代舞台芸術、文芸・美術、伝統芸能、子ども・子育て世代の支援の戦略目標の実現に向け、上質で多彩な事業を展開する。

また、2019年(平成31年)3月に開館20周年を迎え、これまでのグランシップの特徴を示すことができる事業、これからの方向性を示す事業を20周年記念事業として展開する。

なお2020年9月からのグランシップ特定天井改修工事に伴う長期休館中の準備を進める。

【戦略目標別の内訳】 ※カッコ内は再掲

戦略目標	事業本数	入場参加者数
① 音楽文化等の普及・振興	28本	30,030人
② 伝統芸能の継承	20本	7,680人
③ 文芸・美術等の振興	11本	40,600人
④ 子ども・子育て世代への支援	6本 (26本)	50,300人 (16,920人)
合計	65本 (26本)	128,610人 (16,920人)

【事業形態別の内訳】

方針	事業本数	入場参加者数
ア 上質で多彩な鑑賞事業 ・国内外の上質で多彩な芸術を鑑賞する機会の提供	18本	12,910人
イ 誰もが参加できる県民参加型事業 ・県民がステージに立つことのできる場の提供	18本	77,660人
ウ 関心・理解・親しみを深める教育普及事業 ・文化芸術の素晴らしさを体感し、さらなる興味を持ってもらう機会の提供	11本	10,620人
エ ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業 ・普段文化施設に来られない、あるいは生の文化芸術に触れる機会が少ない地域や学校等での公演実施	18本	27,420人
合計	65本	128,610人

① 音楽文化等の普及・振興

ア 上質で多彩な鑑賞事業 (◎20周年記念事業、★中高生鑑賞ﾌﾗﾝ対象、☆学生・こども設定)

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
1	NHK 交響楽団名曲コンサート	6/27(木)	★☆	中ホール	900	NHK 交響楽団によるクラシック公演
2	◎エイフマン・バレエ 「ロダン～魂を捧げた幻想」	7/15 (月・祝)	★☆	中ホール	650	世界的なバレエ振付家が率いる精鋭バレエ集団による創作バレエ公演
3	グランシップ世界の子ども劇場 2019	8/1(木) ～3(土)	☆	中ホール他	1,470	世界で活躍する劇団による児童公演
4	キング・オブ・ジプシー・ヴァイオリン ラカトシュ・アンサンブル	11/14(木)	★☆	中ホール	800	ハンガリーのジプシー・ヴァイオリンの名手が率いる楽団による公演
5	グランシップ リサイタル・シリーズ 宮田大 チェロリサイタル	11/22(金)	★☆	中ホール	600	若手チェリストによる公演
6	グランシッププレミアム・クリスマス・ ジャズ・ライブ ロン・カーター	12/7(土)	★☆	中ホール	500	毎年恒例の時期開催のジャズ公演
7	パッサ・コレキウム・ジャパン 「メサイア」	12/20(金)	★☆	中ホール	900	日本を代表する古楽団体による公演
8	グランシップ&静響ニューイヤーコンサート (2公演)	1/10(金)	-	中ホール	1,700	静岡交響楽団との共催で実施するクラシック公演
9	グランシップバレンタイン・コンサート タミコ	2/11 (火・祝)	★☆	交流ホール	270	一流シャンソン歌手による公演
10	グランシッププレミアム・ジャズ×ロック・ ライブ 小曽根真 featuring No Name Horses	3/6(金)	★☆	中ホール	800	世界的なアーティストによるジャズロック公演

イ 誰もが参加できる県民参加型事業 (★中高生鑑賞ﾌﾗﾝ対象、☆学生・こども設定)

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
11	【提携公演】 ピリオド楽器で楽しむ バロック音楽 vol.3	5/18(土)	-	交流ホール	200	古楽器によるバロック音楽の公演
12	【提携公演】 うきうきプロジェクト オペラ 「ある水筒の物語」(3公演)	5/31(金) 6/1(土)	-	中ホール	1,800	静岡にゆかりある声楽家とプロ奏者によるオペラ公演
13	グランシップ音楽の広場 2019	8/4(日)	★☆	大ホール	5,600	本県ゆかりの音楽家 600 人による大オーケストラ・合唱団による県民参加型公演
14	グランシップビッグバンド・ジャズ・ フェスティバル 2019	8/11(日)	-	大ホール	1,400	アマチュアビッグバンドによるジャズ・フェスティバル(ジャズクリニック受講生も演奏参加)
15	グランシップ冬のおくりもの ～静フィル広場～	11/24(日)	☆	大ホール	1,900	親子で気軽に楽しめるオーケストラ公演
16	【提携公演】 オペラ デイ モード オペラ「ロジ・ファン・トゥッテ」	1/5(日)	-	中ホール	600	県内で活動をしている若手演奏家を中心としたオペラ デイ モード によるオペラ公演
17	グランシップ 春の音楽祭 2020	2/23(日)	★☆	大ホール	1,200	10 代後半～40 代を観客主体とした県民参加によるクロス・カルチャー型公演
18	【提携公演】 2020 年静岡県文化プログラム 静岡県郷土唱歌を歌おう	3/29(日)	-	大ホール	1,600	静岡県郷土唱歌を新たに編纂し、県内の小中高校等に呼びかけオーケストラと共演

ウ 関心・理解・親しみを深める教育普及事業 (☆学生・こども設定)

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
19	登録アーティスト事業	4/20(土) 他	-	3階共通ロビー他	1,300	登録アーティストによるミロビーコンサート等
20	第40回学生音楽コンクール2019 (本選)	8/17(土)	-	中ホール	700	県内学生による音楽コンクール
21	パッサ・コレギウム・ジャパン 「メサイア」事前講座	未定	☆	未定	100	本公演をより楽しめるように解説する事前講座
22	中学生のためのオーケストラ (4公演)	1/29(水)、 30(木)	-	中ホール	3,760	県内中学生を招待し、上質なオーケストラ音楽を体験してもらうクラシック公演
23	ハイスchoolジャズ公開レッスン	2月	-	大ホール	220	高校生を対象とした、ジャズをより深く楽しむための公開レッスン

エ ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業 (☆学生・こども設定)

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
24	【出前公演】 世界のこども劇場 2019	8/7(水)	☆	掛川市美感ホール	680	ワークショップで開催する世界のこども劇場の出前公演
25		8/8(木)	☆	菊川文化会館 アエル		
26		8/10(土)	☆	裾野市民文化センター		
27	【ワークショップ子どもアート体験！】 登録アーティストアウトリーチ	5月～3月	-	小中学校、特別支援学校等	320	ワークショップ登録アーティストによるアウトリーチ公演
28	パッサ・コレギウム・ジャパン (1校)	未定	-	未定	60	パッサ・コレギウム・ジャパンによるアウトリーチ公演

② 伝統芸能の継承

ア 上質で多彩な鑑賞事業 (★中高生鑑賞プラン対象、☆学生・こども設定)

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
1	人形浄瑠璃 文楽 (2公演)	10/6(日)	★☆	中ホール	1,200	文楽協会による人形浄瑠璃公演
2	ワークショップわいわい縁日寄席 (2公演)	11/23 (土・祝)	☆	交流ホール	400	子ども向けの季節やテーマを設定した良質な話芸
3	ワークショップ静岡能	1/25(土)	★☆	中ホール	740	宝生流能楽師による能楽公演
4	ワークショップ寄席	3/14(土)	★☆	交流ホール	300	季節やテーマを設定した良質な話芸

イ 誰もが参加できる県民参加型事業

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
5	能楽体験ワークショップ*	9/8(土)他	-	中ホール リハーサル室	200	小学生から大学生による能楽体験 *能楽入門公演の一環
6	伝統芸能フェスティバル	9/22(日)	-	中ホール	500	県文化プログラム県域プログラムとして、 県内等の民俗芸能公演、

ウ 関心・理解・親しみを深める教育普及事業 (◎20周年記念事業、★中高生鑑賞プログラム対象、☆学生・こども設定)

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
7	グランシップ®伝統芸能シリーズ 講演会 岩下尚史の伝統芸能へようこそ!	4/28(日)	☆	交流ホール	220	各種伝統芸能公演に先立ち、伝統 芸能への意識を深める事前講座
8	国立劇場 歌舞伎鑑賞教室 (2公演)	6/26(水)	★☆	中ホール	1,630	国立劇場の歌舞伎出張公演
9	◎グランシップ 静岡能 能楽入門公演	9/7(土)	★	中ホール	750	初心者向けの能楽公演
10	雛の宴 ～五人囃子のおひなさま～	3/8(日)	☆	交流ホール	240	能楽の囃子方による能楽公演

エ ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業 (☆学生・こども設定)

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
11	【出前公演】「人形浄瑠璃文楽 事前レクチャー」山川静夫のここが みどころ・ききどころ	9/4(水)	☆	焼津市大井川 文化会館ミュージコ	180	文楽公演に連動した事前講座
12	【グランシップ子どもアート体験!】 「人形浄瑠璃文楽」出前講座 (2校)	未定	-	小中学校、 特別支援学校等	200	文楽協会の協力による文楽講座 *伝統芸能普及プログラムの一環
13	【グランシップ子どもアート体験!】 六代目宝井馬琴監修 講談教室 (3校)	未定	-		300	本県出身の6代目宝井馬琴監修の 講談教室
14	【グランシップ子どもアート体験!】 玉川奈々福の浪曲教室 (2校)	未定	-		120	小中学生向けの浪曲教室
15	【グランシップ子どもアート体験!】 狂言ワークショップ (1校)	未定	-		100	小学生向けの狂言教室 *伝統芸能普及プログラムの一環
16	伝統芸能普及プログラム <地域連携事業>	未定	-		100	大学等との連携による伝統芸能ワー クショップ
17	伝統芸能普及プログラム <大学連携事業> 静岡大学人文社会科学部	未定	-	100		
18	伝統芸能普及プログラム <教育普及事業> 歌舞伎レクチャー	未定	-	300		
19	伝統芸能普及プログラム <大学連携事業> 歌舞伎レクチャー	未定	-	50		
20	伝統芸能普及プログラム <大学連携事業> 文楽レクチャー	未定	-	50		

③ 文芸・美術等の振興

ア 上質で多彩な鑑賞事業 (◎20周年記念事業、★中高生鑑賞ﾌﾟﾗﾝ対象、☆学生・こども設定)

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
1	グランシップサポーター企画 撮影サポーター写真展	12/8(日)– 2/1(土)	-	3階共通ロビー	1,000	グランシップ撮影サポーターが撮影したグランシップ企画事業の写真展
2	グランシップサポーター企画 懐かしの映画会(洋画劇場)	12/7 (土)	-	映像ホール	160	グランシップサポーターの企画による洋画DVDの上映
3	◎2019年しずおか連詩の会	12/15(日)	★	会議ホール	220	静岡ゆかりの詩人大岡信氏が提唱した連詩の創作と発表
4	グランシップサポーター企画 懐かしの映画会	1/18(土) 19(日)	-	中ホール	300	文化庁及び国立近代美術館フィルムセンターと連携した名画の上映

イ 誰もが参加できる県民参加型事業

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
5	グランシップ誰もが Wonderful アート	9/14(土) ～29(日)	-	展示ギャラリー他	1,800	県内の特別支援学校児童・生徒による作品展「ウイズ・ハート展」とNHKハート展を開催
6	静岡の魅力第10回 フォトコンテスト(表彰・入賞作品展)	1/18(土)– 2/2(日)	-	交流ホール他	3,000	静岡県の写真文化発展と振興、また静岡の魅力を全国に発信する写真コンテスト
7	ふじのくに芸術祭春の祭典 「授賞式・開会式」	2/18(日)	-	中ホール	260	ふじのくに芸術祭のメインイベントである春の祭典受賞式・開会式(県との共催)
8	高松宮妃のおひなさま展	2/19(水)– 3/8(日)	-	展示ギャラリー	9,000	県立美術館所蔵の高松宮妃ゆかりのおひなさまの展示

ウ 関心・理解・親しみを深める教育普及事業

該当なし

エ ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
9	静岡の魅力フォトコンテスト(巡回展)	未定	-	県内大型 ショッピングモール	24,700	フォトコンテストの周知を目的とした、過去の受賞作品の巡回展示
10	詩人と語ろう！言葉を語ろう！	未定	-	未定	40	しずおか連詩の会に連動した、詩人と交流するワークショップ
11	【グランシップ子どもアート体験！】 連詩をつくろう！ワークショップ (2校)	未定	-	小中学校、 高校等	120	しずおか連詩の会参加詩人による連詩の創作ワークショップ

④ 子ども、子育て世代の支援

ア 上質で多彩な鑑賞事業 (☆学生・こども設定)

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
1	【再掲】 グランシップ世界のこども劇場 2019	8/1(木) ～3(土)	☆	中ホール他	(1,470)	世界で活躍する劇団による児童公演
2	【再掲】 グランシップわいわい緑日寄席 (2公演)	11/23 (土・祝)	☆	交流ホール	(400)	子ども向けの季節やテーマを設定した良質な話芸

イ 誰もが参加できる県民参加型事業 (◎20周年記念事業、☆学生・子ども設定)

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
3	「おかあさんといっしょ」 ガラビヨぶ〜がやってきた!! (2公演)	4/14 (日)	☆	大ホール	3,000	親子向けキャラクターショー
4	グランシップこどものくに	5/3(金・祝) ～6(月・休)	-	大ホール他	14,000	手作業や身体感覚を使って親子で楽しむ体験型イベント
5	◎グランシップトレインフェスタ 2019	5/11(土)、 12(日)	-	全館	30,400	鉄道模型コーナーやミニ列車乗車会等、家族で楽しめる日本最大級の鉄道イベント
6	【再掲】 グランシップ誰もが Wonderful アート	9/14(土) ～29(日)	-	展示ギャラリー他	(1,800)	県内の特別支援学校児童・生徒による作品展「ウイズ・アート展」とNHKハート展を開催
7	グランシップ冬のおくりもの 2019	11/23(土)	-	エントランス他	(1,200)	グランシップの賑わいを創出するためのクリスマスを盛り上げる館内装飾や展示・イベント
8	【再掲】 グランシップ冬のおくりもの ～静フィル広場～	11/24(日)	☆	大ホール	(1,900)	親子で気軽に楽しめるオーケストラ公演
9	【再掲】 グランシップ春の音楽祭 2020	2/23(日)	★☆	大ホール	(1,200)	10代後半～40代を観客主体とした県民参加によるクロス・カルチャー型公演

ウ 関心・理解・親しみを深める教育普及事業 (★中高生鑑賞プラン対象、☆学生・子ども設定)

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
10	【再掲】 登録アーティスト事業	4/20(土) 他	-	3階共通ロビー他	(1,300)	登録アーティストによるミロビーコンサート等
11	合唱ワークショップ ～歌のメイゴーランド～(2公演)	5/3(金・祝)	-	中ホール	1,300	体を動かしながら子どもから大人まで楽しめるワークショップ
12	【再掲】 国立劇場 歌舞伎鑑賞教室 (2公演)	6/26(水)	★☆	中ホール	(1,630)	国立劇場の出張公演
13	【再掲】 第40回学生音楽コンクール 2019 (本選)	8/17(土)	-	中ホール	(700)	県内学生による音楽コンクール
14	【再掲】 中学生のためのオーケストラ (4公演)	1/29(水)、 30(木)	-	中ホール	(3,760)	県内中学生を招待し、上質なオーケストラ音楽を体験してもらうクラシック公演
15	【再掲】 ハイスクールジャズ公開レッスン	2月	-	大ホール	(220)	高校生を対象とした、ジャズをより深く楽しむための公開レッスン
16	グランシップ文化講座(2回)	未定	★	会議室等	400	学術、文化等をテーマ講座

エ ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業 (☆学生・子ども設定)

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
17	【再掲】【出前公演】 世界の子ども劇場 2019	8/7(水)	☆	掛川市 美感ホール	(680)	グランシップで開催する世界の子ども劇場の出前公演
18		8/8(木)	☆	菊川文化会館 アエル		
19		8/10(土)	☆	裾野市民文化 センター		

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
20	【再掲】 【グランシップ子どもアート体験！】 登録アーティスト アウトリーチ	未定	-	小中学校、 特別支援学校等	(320)	グランシップ登録アーティストによるアウトリーチ公演
21	【再掲】 パッサ・コレギウム・ジャパン (1校)	未定	-	未定	(60)	パッサ・コレギウム・ジャパンによるアウトリーチ公演
22	【再掲】 【グランシップ子どもアート体験！】 「人形浄瑠璃文楽」出前講座 (2校)	未定	-	小中学校、 特別支援学校等	(200)	文楽協会の協力による文楽講座 *伝統芸能普及プログラムの一環
23	【再掲】 【グランシップ子どもアート体験！】 六代目宝井馬琴監修 講談教室 (3校)	未定	-		(300)	本県出身の 6 代目宝井馬琴監修の 講談教室
24	【再掲】 【グランシップ子どもアート体験！】 玉川奈々福の浪曲教室 (2校)	未定	-		(120)	小中学生向けの浪曲教室
25	【再掲】 【グランシップ子どもアート体験！】 狂言ワークショップ (1校)	未定	-		(100)	小学生向けの狂言教室 *伝統芸能普及プログラムの一環
26	【再掲】伝統芸能普及プログラム <地域連携事業>	未定	-		(100)	大学等との連携による伝統芸能ワーク ショップ
27	【再掲】伝統芸能普及プログラム <大学連携事業> 静岡大学人文社会科学部	未定	-	(100)		
28	【再掲】伝統芸能普及プログラム <教育普及事業> 歌舞伎レクチャー	未定	-	(300)		
29	【再掲】伝統芸能普及プログラム <大学連携事業> 歌舞伎レクチャー	未定	-	(50)		
30	【再掲】伝統芸能普及プログラム <大学連携事業> 文楽レクチャー	未定	-	(50)		
31	【再掲】 詩人と語ろう！言葉語ろう！	未定	-	未定	(40)	しずおか連詩の会に連動した、 詩人と交流するワークショップ
32	【再掲】 【グランシップ子どもアート体験！】 連詩をつくらう！ワークショップ (2校)	未定	-	小中学校、 高校等	(120)	しずおか連詩の会参加詩人による 連詩の創作ワークショップ

⑤ 新たなグランシップファン獲得のための取り組み

ア 広報・宣伝の展開

広報の対象に照準を合わせた実施計画を立てるとともに、WEB解析等を進めながら販売状況に即応した広報媒体を利用した広報・宣伝を展開する。また、グランシップ企画事業の多彩さを伝え関心のある人をさらに引き込むため、ジャンルごとのセット券販売を行う。

イ 新たな世代への取り組み

若年層へ情報発信するツールとして、SNSを含むネットを活用し、事業に関心を持ってもらい、新たな鑑賞者層の獲得に取り組む。

また、スマートフォン等からのチケット購入を可能とすることにより、スマートフォン保有率が高い若年層等の利用を高め、利便性の向上に努める。

ウ 中高生等への鑑賞支援策

子どものうちから上質で多彩な文化芸術に身近に触れる機会を提供するため、各公演の学生チケット料金（28歳以下の大学生、子ども）を原則1,000円で設定する。

また、中学校、高校の学校行事や部活動等の課外活動による鑑賞の場合には、チケット料金を800円に割引くとともに、中高生芸術鑑賞支援制度により交通費を支援する。

さらに、高校生については、全県高校生を対象とした「高校生アートラリー事業」により、鑑賞機会の増加を促進する。

エ 県外への広報

トレインフェスタ、音楽の広場など、オリジナル性が高く静岡県らしい事業を、首都圏などでPRし、事業の認知度を高める。

(2) 文化支援

「ふじのくに芸術回廊の実現」の一翼を担い、県内の文化活動を側面的に支援する「ふじのくに文化情報センター」（2015年（平成27年）4月開設）の機能強化を図るとともに、東京オリンピック・パラリンピック大会文化プログラム後の対応を県と検討していく。またグランシップ企画事業を活用した人材育成に取り組む。

① ふじのくに文化情報センター

文化支援の県域のセンターとして、県内各地で中核的に文化活動や文化支援の団体等、関係者による組織を設置し、横断的なネットワークにより県内の文化活動を支援する。

ア 静岡県文化情報サイト「ふじのくに文化情報」の利用促進

「ふじのくに文化情報」のスマートフォンサイトの開設等により利用促進を図る。

イ 総合相談窓口の運営

面接、電話、メールによる総合案内役として相談窓口を運営し、相談事例はホームページで公開する。

ウ 交流と研修の場づくり

交流と研修・情報収集の場として、「ふじのくに文化情報フォーラム」（2019年10月、2020年2月）や文化活動を支援するワークショップ等を開催する。「こかげのまなびば」は、外部団体等との連携による開催を推進する。

また、アートマネジメントをテーマとした静岡文化芸術大学との連携講座を開催する。

エ 文化活動団体の顕彰等

新たな地域文化の創造を目指し多彩で優れた文化活動団体を顕彰するとともに、県内の文化活動を発展させるため、文化団体に助成（ふじのくに文化プログラム推進事業助成）する。また、本県の文化芸術の魅力を掘り起こして発信する書籍の制作・配布に取り組む。

	内 容
募集期間	2019年8月～9月
対 象	地域文化を育て、文化の香り高い郷土づくりに貢献し、県内に活動の本拠を置く文化団体
選 考	地域文化活動賞選考委員会
賞	地域文化活動賞 1件 賞状、賞金10万円、楯 地域文化活動奨励賞 若干 賞状、賞金2万円、楯 地域文化活動努力賞 若干 賞状、賞金1万円、楯 *表彰式は「ふじのくに文化情報フォーラム」と同日に開催

② グランシップ企画事業を活用した人材育成

県内の公立文化施設職員の資質向上や交流を促進し、地域の文化活動団体、アウトリーチに関係する教育関係者、福祉関係者、文化行政関係者とのネットワークを強化するため、「静岡県公立ホール連携支援研修事業」や大学生を対象としたインターンシップ等を実施する。

また、実演による文化芸術を県内各地で提供するため、地域で活躍するアーティストをグランシップ登録アーティストとして登録し、県内公立文化施設と連携しながら、音楽アウトリーチを実施する。

	公立ホール連携支援研修	登録アーティスト アウトリーチ	インターンシップ ^o
対 象	県内の公立文化施設職員	県内小学校、特別支援学校の児童、生徒	大学生
期 間	2019年6月～ 2020年3月	2019年5月～ 2020年3月	2019年6月～10月
募集人員	10人程度	320人	25人

さらに、財団が文化支援事業やグランシップ企画事業で培ってきたノウハウを生かして、県から受託を予定している「子どもが文化と出会う機会創出事業」を県内のプロオーケストラと協働して、県内各地で地域訪問プログラムや未就学児対象コンサートを実施する。

(3) 文化プログラムに対する取り組み

① グランシップ文化プログラム

「音楽の広場」「トレインフェスタ」「世界のこども劇場」「誰もが wonderful アート」を文化プログラムに相応しい内容で実施する。

また、昨年度に引き続き、クラシックとポップス、音楽とダンスというクロス・カルチャー型志向の県民参加型音楽会である「春の音楽祭」を開催する。

② 関係機関と連携した文化プログラム

国、組織委員会、静岡県文化プログラム推進委員会との連携の上、全県的なオリンピックムーブメントの醸成に努める。

また、県内の文化プログラムの拠点として、提携公演などの制度を活用して、積極的に文化プログラム関連催事を支援する。

なお、静岡県文化プログラム推進委員会事務局の円滑な運営に協力するとともに、県域プログラム「伝統芸能フェスティバル」を実施する。

③ 文化力プロジェクト環境整備事業

ア ふじのくに文化プログラム推進事業助成

東京オリンピック・パラリンピック大会の開催を機に、県内の多彩な文化芸術活動や「ささえる」活動を発展・継承し、県内外に発信するため、文化団体に対して助成する。

項目	内 容		
メニュー	事業補助	団体補助	
		「ささえる」活動団体の自立に向けた活動	しずおかの文化芸術団体のステップアップ活動
補助対象事業・活動	①住民参加型芸術文化事業 ②広域的芸術文化事業 ③国際文化交流事業	「ささえる」活動を主たる目的としている団体の組織の自立に繋がる投資的な活動	舞台芸術をはじめとする文化活動の分野において、静岡県を代表する文化芸術団体の育成に繋がる投資的な活動
補助対象者	個人又は団体	「ささえる」活動団体	文化活動団体
補助期間	単年度	複数年度(原則3年、5年が限度)	
補助額	上限30万円 (自己負担額1/3以内)	上限30万円、翌年度以降逡減	
募集	年1回		
審査方法	書類審査	書類及び対面審査	
審査員	有識者及び財団役員等		

イ 本県の魅力掘り起こしと発信に係る事業

県内の文化資源の存在や価値を再発見し、文化プログラムの推進につなげ、県民の共有財産として、後世に伝えていくため、書籍「しずおかの文化」を制作、配布する。

ウ 次世代を担う中高生が文化芸術に触れる機会を創出する事業

文化プログラム推進の一環として、次世代を担う県内の中高生に上質で多彩な文化芸術に触れてもらうため、グランシップ企画事業の鑑賞に要する交通費を全額支援する。

2 グランシップ管理運営事業

(1) 貸館

静岡県における文化学術振興と交流促進のためのコンベンション施設として、公共性と収益性のバランスを確保しつつ「親切・丁寧・迅速・柔軟」をモットーに利用者満足度を高め、施設の利用促進を図る。

区 分	内 容
施設の貸出	・ 条例に基づく適正な施設の貸出 ・ スマートフォンに対応した会議室予約システムの運営 ・ 備品等の更新
貸館情報の提供	・ ホームページ、情報誌 GRANSHIP、DM 等を活用した情報の提供
利用者ニーズの把握	・ 催事終了後のアンケートの実施

① 利用者サービスの一層の向上

サービスの質の向上を目指し、利用者会議を開催するとともに全ての利用者に対してアンケート調査を実施し、利用者ニーズを的確に把握・分析し、迅速に対応する。

また、催事開催支援サービス（ワンストップサービス）の定着を踏まえ、催事当日の運用支援など、利用者ニーズを把握してサービスメニューの拡充に努める。

なお、貸出施設内での無線 LAN 環境を整備し、施設利用者の利便性向上に役立てる。

② 積極的な営業活動

貸館の期間外予約制度を活用し、様々な文化芸術・学術催事を積極的に誘致する。

また、県内の文化芸術団体や大学等と協働関係を強め、文化芸術催事を誘致するとともに、県内企業等を直接訪問するなど、積極的な営業活動に取り組む。

さらに、既利用者に対し、ホール系の空き状況を定期的にDMで送付するとともに、県内放送局事業部やプロモーターに対し積極的な情報提供を行い、貸館利用率の向上を図る。

2020年9月から始まるグランシップ特定天井改修工事による休館時や休館後の貸館収入減への対策のため、貸館業務の現状分析結果を踏まえた上での効果的・効率的な営業活動を実施し、貸館収入の確保を図っていく。

③ 大規模催事の誘致

国際ミーティング・エキスポ（IME）を活用し、大規模催事に関する広報・商談・情報収集を行うとともに、学会や全国大会の主催者や企画・運営企業などに対して、定期的な情報収集や営業活動に取り組む。

また、県や市町、するが企画観光局、市町の公立文化施設や展示施設などの関係機関と連携し、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催時に地方へ流出する首都圏の大規模コンベンションの共同誘致に取り組む。

(2) 維持管理

① 安全・安心・快適な施設管理

すべての来館者にとって安全な施設であるとともに、安心して快適な空間であるよう、県や施設管理、警備、清掃、舞台技術の委託業者と連携して、計画的な修繕・更新の実施、故障個所の迅速な修繕に努め、適切に管理する。

なお、開館以来 20 年が経過し、施設・設備等の全般に亘って経年劣化が進行しているため、点検方法や点検個所の見直しを進める。

② ユニバーサルデザインに配慮した施設運営

すべての来館者が、安心して利用できる施設とするため、常に来館者の目線での施設運用の見直しに努める。また、毎月実施する防災訓練の中で、さまざまな来館者の避難に対応するための研修を実施する。

③ 省エネルギーと環境負荷の低減

省エネルギーを推進し環境に与える負荷を低減するため、エネルギー管理員の主導による効率的なエネルギー運用に取り組む。

④ 賑わい創出

グランシップを訪れたことのない人の来館を促進するため、オープンシアターデーとして、「冬のおくりもの」を開催するとともにプレミアムフライデーの参加事業であるレコードコンサート（無料）、静岡大学、県立美術館、静岡市立美術館などが東静岡駅北側を中心に静岡市内各所を会場に協働で取組んでいる「めぐりアート」と連携した「めぐりアート+」に引続き、取り組む。

⑤ 駐車場管理、自動販売機等管理

利用者へのサービス向上を図るため、円滑な駐車場運営ができるよう、委託業者と連携して適切な維持管理を行う。また、館内に自動販売機・公衆電話等を設置、管理する。

なお、駐車場の 24 時間営業と利用料金の上限制度を継続し、施設利用者以外による駐車場利用の促進を図る。

(3) サポート組織

県内の文化振興に関心があり、活動に積極的な県民の自主的な参加・参画を得て、グランシップの円滑な事業運営を図る。

(2019 年(平成 31 年) 4 月 1 日見込)

業務区分	内 容	登録者数
広 報	ダイレクトメール発送、広報勉強会、来館者見学案内等	67 人
イ ベ ント	受付、もぎり、資料配布、会場案内、避難誘導等	71 人
撮 影	イベント・公演時の記録撮影、記録写真の整理等	16 人
託 児	公演時の託児サービス等	9 人
文化情報運営	静岡県文化情報総合サイト「しずおかの文化情報」運営等	20 人
計	※ 兼務含む	183 人

(4) 危機管理とリスクマネジメント

「火災・地震・風水害等の災害が発生した際の対応」を危機管理、また「前記以外の事故・故障・苦情・不審物等のリスクへの対応」をリスクマネジメントと定義し、それぞれの体制を確立して、来館者の安心・安全と信頼の確保に努める。

① 危機管理

発災時の迅速な初動態勢の確立と継続的な運営のため、新たに危機管理マニュアルの見直しに着手するとともに引続き自衛消防隊の事前編成や防災訓練を毎月実施する。

② リスクマネジメント

故障による機器類の停止等のリスク回避・低減のため、消耗品の事前交換など適切な維持管理を行う。また異常・故障発生時には、来館者への影響を最小とするため、適切な応急措置を直ちに講じ、修繕を行い、財団で実施できない修繕については、県へ迅速に報告し、指示を受ける。

3 グランシップ友の会

(1) 個人会員

入会して長期間利用がない会員の適切な管理をしながら、達成した会員数1万人の維持・拡大に努める。

(2) 法人会員

グランシップに対する理解を深めてもらうため、各法人会員に担当を割り振り、定期的な訪問活動に取り組む。

4 文化財団法人運営

(1) 広報・宣伝

新聞広告、情報誌「GRANSHIP」やホームページ等の自己媒体、ブログやモニター制度等の双方向性のある手段を世代に応じて組み合わせ、効果的な情報発信を促進する。

① 広報調整会議の開催

財団、グランシップ全体の広報・宣伝計画を策定し、毎月1回、広報調整会議を開催し、効率的・効果的な情報発信に取り組む。なお、一方的な広報・宣伝だけでなく、県民の声を広く集め、運営に反映させるため、アンケートやモニター制度などにより県民ニーズの把握に努める。

② 多様な媒体、手段の活用

既存の媒体とインターネット等を利用した新たな媒体を効率的・効果的に組み合わせながら、若い世代から高齢者まで、様々な世代に合わせた広報・宣伝に取り組む。

【自己媒体】

- ・情報誌「GRANSHIP」（年4回発行、A4判、36P、35,000部）
- ・チラシ・ポスター（グランシップ企画事業の公演ごとに作成）
- ・ホームページ、メールマガジン、ブログ、ツイッター、フェイスブック等のインターネット系
- ・年間イベントカレンダー（グランシップ企画事業の公演紹介、年1回発行）
- ・財団アニュアルレポート

【広告】

- ・新聞・フリーペーパーへの広告（静岡新聞他）
- ・ラジオ広告（SBS ラジオ、K-MIX、コミュニティ FM）
- ・交通広告（JR 東海静岡駅等でのポスター掲示）

【その他】

- ・記者会見や記者発表、プレスリリース等
- ・公演毎、貸館利用毎のアンケート実施
- ・グランシップ企画事業のモニター制度（10 人程度、公演鑑賞によるアンケート実施と年 4 回のモニター会議）
- ・貸館利用者による利用者会議（年 1 回）

(2) 働きやすい職場づくり

① 人材育成

ア 契約職員の正規職員化

2016 年度(平成 28 年度)から実施している勤続年数 3 年を満たした有期雇用契約職員を対象に正規職員への登用試験を行う。

イ 専門的人材の育成

職員が最新の専門知識、技術を習得できる機会を確保するため、外部専門研修の受講を推奨する。

また、国や県の文化政策の状況、指定管理者事業計画を含めた財団の運営状況、県立文化施設や市町立文化施設、地域の団体等との連携状況などの情報の共有化を図るため、休館日に内部職員研修を実施する。

ウ 効果的な評価制度の運用

勤務実績が優秀な職員に対しては、特別昇給及び特別研修を実施する。

*特別研修制度…優秀な職員が自ら、取得したい資格、鑑賞したい文化芸術催事、参考にした施設等を自由に選び、研修計画をたて、財団は出張扱いで費用を負担する制度

② 仕事と生活を両立できる職場づくり

ア 労働時間の適切な管理

労働法令及び労使協定を順守し、職員の出退勤の管理、時間外勤務の事前申請の徹底等による労働時間の適切な管理を行う。

各々の職員が労働時間を自己管理し、生産性の高い業務に取り組むよう、職員研修等を通じて制度の周知、意識啓発を図る。

イ 健康管理とストレスチェックの導入

職員の定期健康診断や人間ドックの検診を実施するとともに、労働安全衛生法に基づくストレスチェックの導入を図る。

ウ 育児・介護休業制度の適切な運用

育児・介護休業等に関する規程に基づき、休業制度を適切に運用する。

(3) 安定した財務管理

チケットの販売促進や積極的な営業活動、関係機関と連携した大規模催事の誘致、催事開催支援サービスの利用者増による収入の確保のほか、国庫補助金等の積極的な活用を図る。

また、毎月、月次決算を実施するとともに、上半期終了時には中間決算を実施することにより、常に財団の財務状況を把握し、適時適切な対応ができる体制を維持する。

(4) 組織体制

(2019年(平成31年)3月31日現在)

